

## 関西大学グリークラブ OB 会 EAST 合唱団【練習報告】(全 3 ページ) 記載: 辻本 (41 期)

【日時】2018 年 10 月 20 日 (土) 18:00~20:30

【場所】国立オリンピック記念青少年センター 10 : <https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

【参加】T1 : 松森、仲村 T2 : 玉山、辻本 B1 : 大山 B2 : 村田、福家、阪田 (敬称略 計 8 名)

【内容】

### ① Going Home(A.Dovorak 作曲 W.A.Fisher 作詩、編曲) : 担当 阪田先輩

★冒頭から 41 小節までの歌詞の発音のタイミングやハーモニーのパートバランスを調節していき、最後に通しました。

・基本 2 小節ごとを 1 フレーズとしていましたが、テンポがかなりゆっくりなこともあり、一旦 1 小節ごとのブレスに戻します。

・基本的には歌詞を基軸にレガートで歌いますが、7 小節目の『quietlike』の『et』や 9 小節目の『not』などは曲の流れ上少し際立たせたい部分でもありますので、不自然にならない程度に 16 部音符のリズムを立てて、先に行ってしまうように注意してください。

・15~16 小節はノンブレスでおねがいします。ひとつめの盛り上がりのクライマックスですので勢いを止めないようにしましょう。

・32~34 小節の dim に向かっては、テンポも少しづつ落とし rit をかけていますので、指揮にしっかり合わせましょう。

### ② Ave Regina Coelorum (V.Miskinis 作曲)

★19 小節から 31 小節目のハーモニーが複雑な箇所と 23~24 小節の転調部分の音の構成を再度確認しました。

・19 小節は B2 の 1 拍目の D を聴いてこれを『ド』とすると 2 拍目 B1 が 4 度上の『ファ』(G)、T2 が 5 度上の『ソ』(A)、T1 が 6 度上の『ラ』(H) の関係で入ります。

・20 小節は同様に B2 の F# を聴いてこれを『ラ』とすると、B1 が短 3 度上の『ド』(A)、T2 が 4 度上の『レ』(H)、T1 が 5 度上の『ミ』(C#) の関係で入ります。

・21 小節は同様に B2 の H を聴いてこれを『ラ』とすると、B1 が短 3 度上の『ド』(D)、T2 が 4 度上の『レ』(E)、T1 が 5 度上の『ミ』(F#) の関係で入ります。

・以上の 3 小節は上の関係になっていることを頭にとどめておいていただきたいのですが、問題は 19 小節目の入る音で、今回練習ではやりませんでした。18 小節からの音との関係でとったほうがわかりやすいかも知れません。次回のこの曲の練習時はここからやりますね。

・和音は 23 小節の D に対し、24 小節からは E $\flat$  に半音上がる転調となります。このキーポイントは何と言っても B2 の 23 小節 3 拍目から 24 小節 1 拍目の動きの音程になります。特に 24 小節 1 拍目の G は B1 の A $\flat$  と短 2 度でぶつかりますので、(半音で) 上に引きづられないようやや低めに音をとったほうがいいかと思います。ここがこの曲の最大の難所ですので、ここを乗り切ればあとは流れでいけてしまいます。

・28 小節から再び元の B $\flat$  の和音に戻りますが、28 小節頭で一旦 Gm の短調の和音がなります。ここは比較的スムーズに移行はできていました。

・言葉の入れ方ですが、基本小節の終わりにある子音は小節内に収めてください。例えば 19 小節、20 小節に出てくる上 3 パートの『omnes』の『s』は、5 拍目の裏に入れるつもりで、次の小節の頭にかぶらないようにお願いします。

### ③ 男声合唱組曲『いつからか野に立って』より『虹』（木下牧子 作曲、高見順 作詩）

★1～32 小節までを音の確認と言葉の表現を少しずつ整理しました。

・この曲の出来のほぼ 80%を決めると思われるのが 2 小節目冒頭の B♭ add9 の和音で、Ave Regina Coelorum にも出てくる和音です。ただ、この音は言葉で言うと『ひと』と言う言葉の『と』ですので、決して強くないようにしかし和音の拡がりを出したいところでもあります。音量バランスとしては T1（メロディ）> B2（主音）> T2（9 音）> B1（3 音）みたいなイメージです。

・『にじ』の『に』、『かなしみ』の『か』、『うつくしく』の『う』など 8 分音符の羅列にせず、言葉の頭ということで少し長めに。

・13 小節目テナー系が『てーんを』と付点 4 分音符 + 8 分音符になっているのに対し、ベース系は『てんを』と 4 分音符 2 つが割り当てられています。これにより、ベース系は少しリズム打ちの縦の流れを意識、テナー系はメロディ重視の横の流れを意識させる役割になりますので、お互いそれぞれに乗っかるように歌ってください。

・18 小節『あるとき』で 4 声が揃います。下 3 パートは前の小節も最後まで歌っていますのでカットプレスで、T1 は遅れないように縦の線を揃えるようにお願いします。

・22 小節の入りは、その前の小節の『だ』の 2 分音符を切りますので、それを 22 小節の 1 拍目とし、その裏で入ってきてください。その後、テナー系ベース系の追いかけになりますが、途中 24 小節目 2 拍目の B♭、26 小節 3 拍目の C の和音を決めていきたいところです。

・27 小節からクレッシェンドが 30 小節までかかっています。イメージとしては『おいで』という言葉が 3 回出てきますので、その都度 3 段階で大きくしていく感じで広げていってください。

#### 【次回練習日】

2018 年 10 月 24 日(水)18:30~20:30 :オリセン 38

アクセス : <https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

【楽譜】一応下記のもの全て用意だけお願いします。

- ① Listen to the Lambs (Spirituals より)
- ② Dear Heart (H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞)
- ③ Joy To The World (F.Hendel 作曲)
- ④ No body knows the trouble I've seen(Spirituals)
- ⑤ Babylon's Falling(Spirituals)
- ⑥ In that new Jerusalem(Spirituals)
- ⑦ 一月 (多田武彦作曲)
- ⑧ 雨の日にみる (多田武彦作曲)
- ⑨ Going Home (A.Dovrak 作曲)
- ⑩ Regina Coeli (グレゴリオ聖歌)
- ⑪ Ave Regina coelorum (V.misukinis 作曲)
- ⑫ Sydameni Laulu (J.Sibelius 作曲)
- ⑬ Limu Limu Lima(スウェーデン古歌 S.Soderberg 編曲)
- ⑭ さくら (松下耕編曲)
- ⑮ Memory (ミュージカル Cats より)

⑩ ロマンチストの豚（木下牧子作曲）

⑪ 虹（木下牧子作曲）

#### 【その他】

次回ファミリーコンサートにつきまして、2019年3月16日（土）もしくは3月23日（土）を予定しています。

【上記以後の練習日程予定】※会場はさくら館の抽選状況（11月分は10/1）によっては変更になる場合があります。

国立オリンピック記念青少年センターアクセス：<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

神田さくら館アクセス：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

昌平童夢館：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/020.html>

2018年11月03日(土)13:30～17:00：昌平童夢館

2018年11月14日(水)18:30～20:30：オリセン10

2018年11月24日(土)18:00～20:30：神田さくら館音楽室

2018年12月08日(土)13:30～17:00：オリセン23

2018年12月15日(土)18:00～20:30：オリセン35

以上です。